

『三田学会雑誌』投稿規定

1. 『三田学会雑誌』は慶應義塾経済学会会員の研究成果の公刊を主たる目的とし、経済学会委員会の中に組織される『三田学会雑誌』編集委員会が編集の任にあたる。

2. 投稿原稿は日本語または英語で記述されていること。以下では日本語での投稿原稿について記載する。英語の投稿原稿については別紙の「Submission guideline of *Mita Gakkai Zasshi (Mita Journal of Economics)*」を参照のこと。

3. 投稿原稿は原則として次の7つの項目に分類される。

(1)原著論文 (Original Article)

新しい学術的貢献を含む研究成果、あるいは既知の内容を有意義な方法で総合・整理・解説することを目的とする論文。

(2)研究ノート (Research Note)

原著論文に比較し、主題がより限定的で、かつ枚数が少ないもの、あるいは理論的・実証的に有意義な試算・観察の結果などを簡潔・迅速に発表するものをいう。これまでに公刊された論文・著作を（単に紹介を目的とするのみならず）批判的に検討し、あわせて自説の積極的な提示を行った論文なども、この項目に含まれる。

(3)資料 (Material)

未公刊資（史）料の翻刻、実証分析上のデータの集計・推計結果の報告等。

(4)展望論文 (Review Article)

学界における特に重要な問題の展望。内容および執筆者は編集委員会が各方面の意見を参考にしながら決定し、依頼する。

(5)書評・書評論文 (Book Review・Review Article)

取り上げる著作の選択および書評者は編集委員会が各分野の意見を参考にしながら決定、依頼する。

(6)批判・応答 (Critique・Rejoinder)

本誌掲載論文に対するコメント、批判、およびそれらに対する反論等。

(7)解説 (Exposition)

特段の専門的知識は有していないものの、学習意欲の旺盛な学部学生を対象に、既存の研究成果を分かりやすく解説したもの。特に、結果自体にオリジナリティーがある必要はないが、説明の仕方に斬新さのあるもの。

4. 原稿は以下のメールアドレスに PDF ファイルを添付して提出する。

『三田学会雑誌』編集委員会 kes@econ.keio.ac.jp

5. 原稿の提出要領は以下のとおりとする。

(1)原稿字数は図表を含めて以下のとおりとする。

原著論文	32,000 字以内	書評	6,000 字以内
研究ノート	24,000 字以内	書評論文	20,000 字以内
資料	24,000 字以内	批判・応答	20,000 字以内
展望論文	40,000 字以内	解説	32,000 字以内

なお提出原稿が止むを得ず上記の文字数を越えてしまった場合には、『三田学会雑誌』編集委員会は例外的に当該原稿を受理することもある。

(2) 原著論文には本文の前に要旨 (200 字程度)、キーワード (5 つ程度)、JEL Classification (3 つ程度) を記載する。

(3)提出原稿は独立した一篇の完成原稿とする。著者の行う校正は再校までとし、校正時での追加修正は誤字・脱字をのぞき認めない。

(4)原稿が採択された場合、原稿 PDF ファイルに加えて、MS-Word (doc) 形式または LaTeX 形式の最終出版版ファイルを提供すること。グラフ・表は eps 形式または Excel 形式で提出すること。またタイトルの英訳、および、英文要旨 (100 ワード程度)、英文キーワード (5 つ程度) を記した別ファイルも提出すること。

6. 非会員の投稿は、会員の推薦状を必要とする。提出論文は、編集委員会が依頼した審査者による審査を行い、掲載の可否を決定する。ただし、編集委員会が依頼した論文については例外とする。また会員による投稿であっても、投稿者の希望があれば、編集委員会が依頼した審査者による審査を行い、掲載の可否を決定する。

7. 本誌に掲載された原稿の著作権は慶應義塾経済学会に帰属し、その原稿は刊行 1 年後に電子化公開される。

8. 掲載された原稿を著者が著書その他の媒体に元の言語あるいは翻訳をして他言語で転載する際には、慶應義塾経済学会の許可が必要である。